日本 MEAW 研究会雑誌投稿規定

1) 日本 MEAW 研究会雑誌(以下「本誌」という)は日本 MEAW 研究会の機関誌として発行するものである。
2) 投稿は本研究会会員に限る。また論文は本誌の目的に適し、他の雑誌に掲載されていないものに限る。
3) 論文の採否および順序は委員会で決定する。委員長は必要に応じ、投稿者に修正を求めることができる。
4) 本誌に掲載された論文の著作権は日本 MEAW 研究会に帰属する。
5) 論文の種類は原著、症例報告、その他とする。
6) 投稿原稿は以下の要領で執筆する。
   a)原稿は和文または英文とする。英文論文の規定は別掲する。
   b)和文論文は口語体、横書き、できるだけ当用漢字、新かな使いで B5 判 400 字詰原稿用紙に青または黒インクで書くこと。日本語ワードプロセッサーを使用するときは A4 判を用い横書きとし、1 行 30 字、25 行を 1 ページに収めること。
   c)原稿には表紙をつけ、表題、著者名、所属(必要があれば指導筆者名)、キーワード(5 語以内)、ランニングタイトル(40 字以内)連絡先を記載する。表題、著者名、所属は、英文も並記する。
   d)本文の前に英文で 400 語以内のアブストラクトを付け、本文を読まなくても論文の大意が理解できるようにする。
   e)学術用語は各学会用語委員会選定のものを用い、和訳しにくい用語以外は日本語で表記する。数字はアラビア数字、計量単位は原則として C.G.S. 単位を用いる。すべて原綴りとし、タイプライターを使用して印字する。
   f)文献は、引用順に並べて通し番号を付け、本文末にまとめる。本文引用箇所には肩番号を付ける。
   文献の書き方
   雑誌のとき　著者：表題名，雑誌名　巻：ページ　(始めと終り)，発行年月日(西暦)．とする。
   単行本のとき　著者：表題名，版，発行地，発行年(西暦)，発行所，引用ページ(始めと終り)．
   の順とする。
   1．宮川泰郎：全身成長および咬合系の変化が下顎骨の成長に及ぼす影響，日矯歯誌 47：53-63，1988.
   2．佐藤貞雄，鈴木祥井：顎顔面のダイナミックスを考慮した不正咬合治療へのアプローチ，1 版，東京，1991，東京臨床出版，72-75.
   g)図、表は墨または黒インクを用い、用紙サイズを B5 判または A4 判に統一する。図(写真を含む)，表はそれぞれ通し番号(図 1、図 2、…)(表 1、表 2、…)を付け本文中の図、表題および説明文は別紙にまとめて記載する。表の挿入箇所は本文右欄外に朱書きとする。写真に文字、記号、範囲をいれたいときはトレイシングペーパーを重ねてその上から朱書きとする。写真はモノクロのみとする。
7) 原稿には表紙、和文要旨(キーワードを含む)、本文、文献、図の説明、図(写真を含む)、表の順に整え、またそれぞれについてオリジナルのほかに、コピーを 2 部作成し、同様に整え、計 3 部を送付すること。
   受付原稿には受付通知、採用原稿には受理証を発行し、掲載にあたっては受付日をもって受理日とする。
8) 症例報告
   a)症例報告は原則として 1 例報告とし、動的処置終了後 2 年以上経過、初診時、動的処置終了時、最終資

Presented by Medical*Online

料採得時の資料を有するものとする。

b)雑誌掲載時の刷り上がりで、4～5ページとする。

9) 原稿の送り先(必ず書留にて送付する)

〒612-8082 京都市伏見区両替町2-348-302

アカデミック・スクエア(株)内 日本MEAW研究会雑誌編集係

10)投稿料

刷上がり7ページまでの本文の費用は無料とし、図(写真を含む)、表などの組版代、製版費、7ページを越えた分の印刷費、および別刷代などの実費の全額を著者の負担とする。ただし本会からの依頼による論文の掲載は無料とする。

11)本誌は年1回12月25日に発行する。

12)論文受付は7月30日までとする。

13)著者校正は原則として初校において行う。校正は誤字を訂正する程度とし、原稿にない加筆や過度の訂正などは認めない。

14)上記、投稿規定にあてはまらないものは受け付けない。

付則　本規定は平成6年4月6日より施行する。

平成11年3月改訂。

Presented by Medical*Online